

総合的な学習・探究の時間

I 総合的な学習・探究の時間の学習目標

- （1）主体的に課題を発見し、論理的に考え、課題を解決することができる力を身につける。
- （2）事象を様々な角度からとらえ分析できる力を身につける。
- （3）多様な価値観を尊重して協働できる力を身につける。
- （4）斬新かつ柔軟な発想力を身につける。

II 総合的な学習・探究の時間の6年間の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容	発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学段階	1年	「総合的な学習の時間」 ・台東区地域行事学習 ・職業学習	・フィールドワーク ・地域行事のリーフレット制作（高大連携授業） ・白鷗祭でのリーフレット展示 ・地域行事主催者の講演 ・地域探究発表会
	2年	「総合的な学習の時間」 ・企業インターン ・職業学習	・企業の課題を解決する・グループでの探究学習 ・職場体験 ・探究発表会
	3年	「総合的な学習の時間」 ・探究活動の基礎	・リサーチクエスチョンと仮説の設定 ・研究計画書の作成 ・実験や検証に取り組む ・探究発表会
高校段階	4年	「総合的な探究の時間（人間と社会）」	・ゼミ形式での学び ・探究論文研究計画発表会 ・地域行事でのボランティア活動
	5年	「総合的な探究の時間」 ・探究論文執筆	・本校教員をアドバイザーとした探究論文の執筆 ・各自の探究分野を、海外研修旅行先の視点で考える ・探究論文発表会
	6年		

教科名 総合的な学習の時間
科目名 総合的な学習の時間
対象 1 学年全員

I 学習到達目標

- 1 活動に主体的に取り組み、課題を発見し探究していこうという姿勢を身につける。
- 2 協働して物事に取り組む態度の素地を身につける。
- 3 自分の意見を聞き手にわかりやすく伝えることができる。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 学校がある浅草地域をテーマに探究活動を展開する。
- 2 ボランティアとのフィールドワークや高大連携授業など、校外の人材と協働して活動する時間を多く確保する。
- 3 自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えるために必要なことを学ぶ時間を設ける。

III 教科書・補助教材

教科書 なし
補助教材 岡本尚也「課題探究メソッドStart Book」啓林館、2019年

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容			授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題	なし	なし	なし	0	
	4	なし	オリエンテーション (ホームルーム合宿)	・浅草上野の地域行事の探究活動の意義・進め方	2 (14)	
	5		地域行事調べ学習 浅草地域フィールドワーク	・浅草上野地区でフィールドワークを実施する	10	
	6 7		地域行事リーフレット制作	・浅草上野地区における地域行事の歴史的背景や現状についてのお話を伺って、グループ別に課題を設定する ・神田外語大学との高大連携授業で、地域行事のリーフレットを制作する	8	
	夏休み 宿 題	なし	台東区子供歴史文化検定の学習	・白鷗祭での展示準備	0	
二 学 期	9	なし	台東区子供歴史文化検定	・夏休みの学習成果を検定で確認する	1	
	10 11		地域行事主催者に話を聞く 発表準備	・地域行事の課題等について調査	6	
	12		地域探究発表会	・ポスター、またはパワーポイントで発表 ・各行事関係者からのフィードバック	3	
	冬休み 宿 題	なし	職業インタビュー	身近な大人に仕事についてインタビューして、内容をまとめる。	0	
三 学 期	1 2 3	なし	職業インタビューの共有 職業講話事前学習 職業講話 2年生企業探究発表見学	・各自の職業インタビューを共有する ・講演の聞き方を学ぶ (P18-19) ・仕事について具体的な話を聞く ・2年生の発表を見学し、良いところを学ぶ	3 3 3 3	
					計 56	
評 価	・活動に主体的に取り組み、課題を発見し探究していこうという姿勢が見られるか。 ・浅草上野地域や神田外語大学の方々と関わる機会を、自らの学びに活かそうとしているか。 ・自分の意見を聞き手にわかりやすく伝えるために必要なことを理解しているか。					

教科名 総合的な学習の時間
科目名 総合的な学習の時間
対象 2 学年全員

I 学習到達目標

- 1 企業活動について理解し、キャリアを主体的に築こうとする態度を身につける。
- 2 情報を適切な方法で収集し、分析する力を身につける。
- 3 自らの考えを論理的に構築することができる。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 企業から提示された課題に取り組む。
- 2 グループで活動する。
- 3 企業での体験活動や実地調査をおこなう。

III 教科書・補助教材

教科書 なし
補助教材 岡本尚也「課題探究メソッドStart Book」啓林館、2 0 1 9 年

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容			授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題 テスト				
	4		オリエンテーション	・ 1 年間の学習と企業インターンプログラムについて ・ 調査方法を学ぶ	3	
	5	なし	アンケート調査と調査レポート		3	
	6	なし	企業からのミッションに取り組む	・ 街頭インタビュー	4	
	7		中間報告	・ 企業課題に対する自分たちのアイデアを発表する	3	
	夏休み 宿 題	なし				
二 学 期	9 1 0	なし	職場体験の準備 (宿泊学習)	・ 体験事業所の確認 ・ 事前訪問日時予約 ・ 事前訪問 (京都・奈良への旅行)	6 (2 1)	
	1 1	なし	職場体験（3 日間） 職場体験の事後学習	・ 各事業所での体験 ・ お礼状作成 ・ 発表原稿とスライド作成 ・ 発表会準備	2 1 4	
	1 2		職場体験発表会	・ 1 年生に向けて発表	3	
	冬休み 宿 題	なし				
三 学 期	1	なし	企画案の再検討	・ 職場体験での学びをふまえて、1 学期に取り組んだ企業課題に対する自分たちのアイデアを再検討する ・ スライド作成等に取り組む ・ 1 年生に向けて発表する	4	
	2		プレゼンテーションの準備		3	
	3		企業探究発表会		3	
					計 7 8	
評 価	・ 企業活動について理解し、キャリアを主体的に築こうとする態度を育んでいるか。 ・ 情報を適切な方法で収集し、分析できているか。 ・ 自分の考えを論理的に構築することができているか。					

教科名 総合的な学習の時間
科目名 総合的な学習の時間
対象 3 学年全員

I 学習到達目標

- 1 2 年次の学びを土台として、主体的に課題を発見し探究することができる
- 2 1 年間の研究成果を適切な形式で文章にまとめることができる

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 個人の興味関心を基にテーマを設定し、探究活動を展開する
- 2 1 年間の学びのまとめとして発表とミニ論文執筆をおこなう

III 教科書・補助教材

教科書 なし
補助教材 岡本尚也「課題探究メソッド 2nd Edition よりよい探究活動のために」啓林館、2 0 2 1 年

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容			授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題	なし				
	4	なし	オリエンテーション	・ 1 年間の学びに向けての流れを理解する	3	
	5		研究テーマを決める	・ 興味関心に合わせてテーマを決める	4	
	6	なし	RQ と仮説を立てる	・ テーマから、RQ と仮説を考える	4	
	7		研究計画書作成 RQ と仮説の発表	・ 研究計画書を作成する ・ RQ と仮説を発表し、意見交換を行う	4	
	夏休み 宿 題	なし	仮検証	・ 仮検証を行う		
二 学 期	9	なし	中間発表	・ 中間発表を行う	3	
	1 0		実験・調査	・ 実験調査を行う	2 2	
	1 1	なし	成果発表準備	・ 成果発表に向けて準備をする	3	
	1 2		成果発表	・ 探究の成果を発表する	5	
	冬休み 宿 題	なし				
三 学 期	1	なし	探究論文の書き方	・ 探究論文で必要な項目を学ぶ	5	
	2 3		ミニ論文執筆	・ 研究成果をまとめる	4	
					計 3 9	
評 価	・ 2 年次の学びを土台として、主体的に課題を発見し探究していこうという姿勢が見られるか ・ 1 年間の研究成果を適切な形式で文章にまとめているか					

教科名 総合的な探究の時間（人間と社会）
科目名 総合的な探究の時間（人間と社会）
対象 4 学年全員

I 学習到達目標

- 1 横断的・総合的な活動を通じて「課題設定力」、「文献調査力」、「データ分析力」の3つを重点的に育む。
- 2 個別課題探究活動における適切なリサーチクエッション（研究テーマ）を設定し、5 年次に執筆する個別探究論文に向けて準備をする。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 横断的・総合的な探究学習を通して自ら課題を見つけ、自ら学び、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。また、学び方やものの考え方を身につけ、問題解決や探究活動に主体的、創造的、共同的に取り組む態度を育て自己の生き方を考える。
- 2 修学旅行プラン選定を通して、様々な視点から物事を見る力を育む。
- 3 個別探究論文執筆のために少人数形式で個々のリサーチクエッションを設定し、準備を進める。

III 教科書・補助教材

教科書	なし
補助教材	岡本尚也 「課題研究メソッド 2nd Edition」 （啓林館）

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容			授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み宿 題	なし	地域行事ボランティア（年間を通して実施）	時期は各行事の予定に準ずる		
	4	なし	オリエンテーション	・ 5 学年で実施する研修旅行プロジェクトと探究論文、地域行事ボランティア参加についての見通しを立てる。	1	
	5		地域行事調べ学習・発表	・ ボランティアとして参加する地域行事について調べ学習をし、小グループの中で発表を行う。	3	
	6		海外研修旅行プランの審査・ブラッシュアップ	・ 5 学年研修旅行の渡航先を、旅行会社等外部人材も交えて、3 つに決定する。	3	
	7		個人探究テーマを決め、知識を深める	・ 5 学年で執筆する探究論文のためのリサーチクエスチョンと仮説の設定に向けて、テーマごとに生徒が集まり、知見を深める。	8	
	夏休み宿 題	なし	各自のテーマに関する論文や本を探し、読む。			
二 学 期	9	なし	リサーチクエスチョンを設定する	・ 5 学年探究論文のリサーチクエスチョン設定する。	3	
	1 0		リサーチクエスチョンを具体化する	・ リサーチクエスチョンのあいまいな部分を具体的にしていく。	3	
	1 1		仮説を設定し、検証・実験方法を模索する	・ 先行研究を踏まえた上で研究目的を示し、今後どのような研究方法を用いるのかまとめる。	4	
	1 2		リサーチクエスチョンをブラッシュアップ 研究計画書の作成を開始する	・ 大学院生のサポートでリサーチクエスチョンを完成させ、随時研究計画書を書き始める。	5	
	冬休み宿 題	なし				
三 学 期	1 2	なし	研究計画書の作成・完成	・ 研究目的や手法を少人数クラスにてブラッシュアップし、研究計画書を完成させる。	6	
	3		中間発表	・ これまでの探究活動の成果を発表する。	3	
					計 3 9 (1 単位)	
評 価	・ 探究活動に必要な知識及び技能を身につけている。 ・ 主体的に取り組み、適切な課題を設定することができている。 ・ 主体的かつ協働的に探究活動に取り組み、多様な考えを生かして新たな知を創造しようとしている。					

教科名 総合的な探究の時間
科目名 総合的な探究の時間
対象 5 学年全員

I 学習到達目標

横断的・総合的な探究学習を通して自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質と能力、データ分析力、日本語での論文作成力、文章による表現・伝達力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身につけ、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、共同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考える。

II 授業の進め方（授業形態等）

個別課題探究（課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・発表）、一斉授業および専門分野ごとの少人数指導

III 教科書・補助教材

教科書 なし
補助教材 「課題研究メソッド 2nd Edition」 啓林館

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業 時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容		
一 学 期	4	実 施 せ ず	全体オリエンテーション ・年間計画の説明 5 年生の研究活動の流れ説明 ・アドバイザー発表 ・文献調査の仕方	3	
	5		調査・研究の準備 ・研究の実施(文献調査、アンケート調査など) ・研究ノートを作成する目的、記録すべきことの確認 ・調査・研究の軌道修正 ・研究ノートの作成	4	
	6		調査・研究・実験 データ整理・分析 研究のまとめ ・結果をまとめ、考察する (定量的、定性的なデータのまとめ方、分析方法) ・論理の組み立て方 (図・表の分析、文章などの分析、結論を導くためのロジックツリー)	4	
	7		報告書の作成に向けて ・研究報告書の作成について理解する。 ・追加研究を行う。	4	
	夏休み 課題		研究報告書の作成		
二 学 期	9	実 施 せ ず	研究報告書作成、発表 ・「研究報告書」に基づく中間発表と準備	4	
	10		研究報告書振り返りと提出 論文作成の基本 (論文の基本的な構成、各項目の役割・書き方)	4	
	11		論文作成について ・論文作成（章・節の作成、パラグラフライティング）	4	
	12		論文作成 各個人の端末を使用して論文作成 ・アドバイザーから指導を受けながら論文作成を進める	3	
三 学 期	1	実 施 せ ず	論文完成、発表 各個人の端末を使用して論文完成 ・アドバイザーから指導を受けながら論文完成を進める	9	
	2				
	3		最終発表と準備		
				計 3 9 (1 単位)	
評 価			・年間を通して課題研究へ主体的に取り組んでいるか ・出席状況や成果物（探究論文）の状況や学習に対する意欲や態度は良好か ・思考力、判断力、表現力などに加えて、生徒の自己評価や相互評価はどうか 以上の点を総合的に評価する		